

議会 - 第4回定例会 -

12月12日に招集された第4回定例町議会は、15日、全日程を終えて閉会しました。定例会では、町長、教育長の行政報告のほか、補正予算などが審議されました。町長と教育長の行政報告の概要についてお知らせします。

町長行政報告

1 災害時における機器の調達に関する協定の締結

この度、協定を締結した相手方は、新ひだか町に営業所を有する、株式会社力ナモト、株式会社共成レンテムおよび北海産業株式会社との3社であり、3社は建設機器などのレンタル事業を行っており、多岐にわたる設備・機器を常時保有しております。

新冠町で災害が発生した場合において、それらの設備・機器を優先的に提供いただけるか打診を行ったところ、3社ともに快諾をいただき、令和5年12月8日付にて、3社それぞれと「災害時にお

ける物資供給に関する協定」を締結しました。
当協定は、町内において地震、津波、風水害などの災害が発生した場合に、当町からの要請に基づき、必要となる発電機、水中ポンプ、暖房機器や仮設トイレなどの設備・機器を迅速かつ優先的に供給していただくものであり、災害時においては、当町にとって大きな援助になると考えています。
今後におきましては、当協定を契機とし、株式会社力ナモト、株式会社共成レンテムおよび北海産業株式会社との相互の支援・受援の体制について連携を深め、緊急時に備える所存です。

2 新冠町合葬墓の供用開始

私の二期目の公約事業でもあります合葬墓は工事が完了し、10月1日から供用を開始しました。
合葬墓建立は、墓の継承問題などを抱えている町民の要望や、無縁納骨堂に安置されてきた先祖のご遺骨を土に帰したいという新冠アイヌ協会の要望に応えるため、国の交付金事業を活用して判官館霊園内に整備したもので、将来に向けて安心して暮らせるまちづくりを目的としたものです。

10月1日の供用開始日には、新冠アイヌ協会主催の納骨式が行われ、無縁納骨堂に安置されてきた847体のご遺骨が合葬墓に納骨されたほか、翌2日からは施設の使用申請の受け付けを開始しました。
11月末日現在で5件、17体のご遺骨分の申請を受けているほか、30件を超える問い合わせをいただいているところです。次年度に向け、引き続き周知を図りながら、合葬墓の利用に結び付けていく所存です。

3 令和6年度における泉駐在所廃止による朝日駐在所との統合

本年8月23日、静内警察署長から本年度をもって泉駐在所を廃止し、翌年度から朝日駐在所と統合する旨の報告を受けました。具体的には、この度の統合により朝日駐在所を2名体制とし、両駐在所の管轄地区を担当するという内容で、私としては唐突感を否めない報告でしたので、次の2点について確認させていただきました。
1 点目として、「統廃合を行う理由と今後の業務に係る影響について」、2 点目に「地域住民への丁寧な説明の考えについて」確認

いたしました。
警察署からの回答は、今回の統廃合計画は道警本部において数年前から検討されていたことで、人口減少や過去の事件発生件数を考慮し、職員の適正配置を行うものであること。また、統廃合により駐在所までの距離は遠くなりませんが、これまでと業務の変更はなく、2名体制となることよって担当警察官の休暇日にも地域のパトロールが可能となるなどのメリットもあることに加え、泉駐在所管轄の地域住民に対しては説明会を開催する考えである旨、説明を受け、致し方ないものと理解しましたが、改めて地域への丁寧な説明をお願いしました。

その後、静内警察署から、関係団体への説明を終え、11月15日に泉生活館において地域説明会を開催する旨の報告を受け、その会議に町職員も同席しました。

説明会には地域から6名の参加があり、出席者からは、駐在所の存続を求める意見に加え、地域の意見集約がなかったことや、説明会開催時期への不満などの意見が出されましたが、警察署からの説明により最終的には統廃合への理解が得られたとの報告を受けました。
また、静内警察署からは、明年

4月以降、朝日駐在所に勤務する警察官が1名増員となるため、朝日小学校の教員住宅を職員住宅として貸与してほしい旨の要請も受けたことから、貸与に向け協議を進めるよう関係課に指示しました。
なお、泉駐在所管轄の地域の皆さまにとつては、不安な点も多くあると思いますが、町は今後とも地域との対話を重視し、安心安全で住みよいまちづくりを推進しますので、不安な点や不自由な点などがありましたら役場にお申し出いただき、共に改善を図りたいと思っております。ご理解をお願いします。

4 広報広聴事業の取り組み

まちづくりの現状報告および地域に関わりの大きい事業などについて、行政が直接町民の皆さんに説明する場面を設定し、理解いただいた上で事業を推進することは、「協働のまちづくり」そして「開かれた行政」の推進として大切なことだと考えています。

このたび、例年取組んでいる町政懇談会のほか、学校統合同明会において町民の皆さんと意見交換を行いましたので報告します。

まず、10月10日、11日、12日の三日間において行われた学校統合

説明会において、朝日小学校の跡利用について説明時点での決定内容を説明しました。
今年度末をもって閉校となる朝日小学校の跡利用計画については、老朽化した地域集会所施設の機能移転およびコミュニティ機能のほか、避難所と防災機能等の役割を担う施設として活用する計画が固まっており、出席いただいた地域の方々はその旨を説明し、ご理解をいただきました。
また出席者からは、大きな施設と広い敷地を考えたとき、施設が無人となることは、荒廃を招く不安があるとして施設管理人の設置を望む声があったほか、朝日の森の保護を望む声があり、閉校後の地域環境について少なからず不安を抱えていることを感じました。

このような町民の声に対し、次年度以降の施設担当課を企画課と定め、役場の窓口と所管課をお知らせし、地域の不安払しょくに努めたほか、地域環境の保全にも努めるとして説明しました。
また広報広聴事業の柱である町政懇談会を11月7日から20日までの間、34自治会、2会議体を対象として実施しました。

各会場において冒頭まちづくりの現状について報告し、更には国

保診療所移転改築工事の着工先送りについて説明した後、出席者から意見をいただきました。国保診療所移転改築工事着工先送りについての意見は、「町の未来を考える上で、賢明な判断で支持する。」といった肯定的な声を多くいただきました。町民の大半が町財政を含めた安定的な町の未来を強く望んでいるということを感じました。

また有害鳥獣の問題など地域の生活環境に係るさまざまな事項についていただいた質問、意見については、町として真摯に向き合い、対応を検討し、現在それぞれの担当課が対応に当たっています。
町政懇談会の総参加者は、86人と出席いただいた町民は決して多くはありませんが、出席した町民の方からは、町政懇談会の継続を望む声や、まちづくりを考える機会になったという女性の声があるなど、対面での意見交換の意義を強く感じました。

町民の声は、まちづくりの根幹です。町は常に町民の声に対し、誠実に耳を傾け、前向きに対応して行く姿勢であり続ける所存です。

5 新冠町立国民健康保険診療所改築事業の発注時期の一時見送り

新冠町立国民健康保険診療所改築事業の発注時期を一時見送ることについて報告します。
私は、「思いやりと笑顔あふれるレ・コードなまち新冠」の実現を目指し、数多くの町民が望んでいた国保診療所の病床復活に取り組みとともに、老朽化の著しい施設は、消防法に基づくスプリンクラーの設置期限が差し迫っていたことから、施設本体の改築が必要と判断し、これまで改築計画を進めていきましたが、資材高騰などに起因する事業費の大幅な増加が見込まれるため、後年次への財政負担などを考え、発注時期を一時見送る決断をいたしました。

改築計画については、この間、町議会や関係機関などとの協議を進め、町民の皆さんにはパブリックコメントや自治会長会議などを通じた情報提供を行いながら取り組みを進め、10月末には改築に関する基本計画の策定および基本設計業務を終えました。これから本格的な実施設計や本体工事に移行し、令和8年秋には新診療所での医療サービスの提供を始める計画でした。
しかし、最近の建設工事の状況